

◎ブスコパン錠 [内], ◎ブチルスコポラミン臭化物注20mg [注]

【重要度】 【一般製剤名】ブチルスコポラミン臭化物 Scopolamine Butylbromide 【分類】鎮痙剤

【単位】 ◎10mg/錠, ◎20mg/A [1mL]

【常用量】 ■内服: 30~60mg/日 ■注射: 1回 10~20mg/回

【用法】 ■内服: 分3 ■注射: 静注, 筋注, 皮下注

【透析患者への投与方法】 常用量 (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (5)

【特徴】 副交感神経遮断作用により、消化管運動抑制、胃液分泌抑制、胆囊収縮抑制などの作用があるが、唾液分泌、心臓拍出、散瞳、発汗抑制などの作用は極めて少ない。めまいに伴う恶心、嘔吐に効果があることがある。

【主な副作用・毒性】 ショック、アナフィラキシー、血圧低下、口渴、便秘、排尿障害、視覚障害、皮膚障害など

【F】 1%未満 (1) 2~8% (11)

【tmax】 1.5hr (0.5mg/kg 投与時)

【代謝】 代謝物の活性は低い (1)

【排泄】 尿中回収率 2%糞便中回収率 90% [po] (11) 尿中回収率 42%, 糞便中回収率 37% [iv] (11) 腸肝循環するのはわづか (11)

【CL】 1.2L/min で腎クリアランスはその50% (1)

【t1/2】 14hr (10) 8hr (11)

【蛋白結合率】 11% [Alb] (10) 10% (11)

【Vd】 1.7L/kg (1) 128L/man [iv] (1)

【MW】 440.37

【透析性】 不明 (1) 透析膜は通過するが効率的ではない (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 低い (11)

【相互作用】 抗コリン作用を有する薬剤 (1) 消化管運動亢進剤と薬理学的拮抗 (1)

【禁忌】 出血性大腸炎、麻痺性イレウスには禁忌、細菌性下痢患者には原則禁忌

【更新日】 20250315

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。